

す。そうすると「あなたでしたか、新聞に載っていたのは・・・」とか、「あなたの来るのを待っています。た」とかいつていっぺんにたくさん注文が集まったのです。それで朝早く牛乳店から牛乳を届けてもらい、それをアルバイト学生に頼んで配達してもらおうようにしたのです。そして、それで得た収入を早速学資に困っている兄に送ってやったのです。ところが兄は喜ぶかと思いのほか、「絶縁！」という電報をよこしたのです。弟にそんなことまでしてもらってと思っただけでしょう。そういう電報をよこしたのです。中村先生は全校生にお話をされたとき、感想文を書くようにいわれたそうで全校生が感想文を書いていました。「孝子中根正世氏」「感ずべき先輩中根正世氏」（正世は本名）、その他こういった内容をいろいろ書いていたのを見せていただいたことがありました。しかしこの仕事を始めたことが新聞に出たのは、父の名誉を傷つけたように思うのです。父は相当の暮らしをしていると世間から見られていただろうと思うのに、私がこんなことをしたため、父の名誉を傷つけたように思われ、誠に申し訳ないことをしたと思っています。